

第11期報告書

平成23年12月1日から平成24年11月30日まで

株式会社サーラコーポレーション

証券コード：2734

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループに格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第11期報告書（平成23年12月1日から平成24年11月30日まで）をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

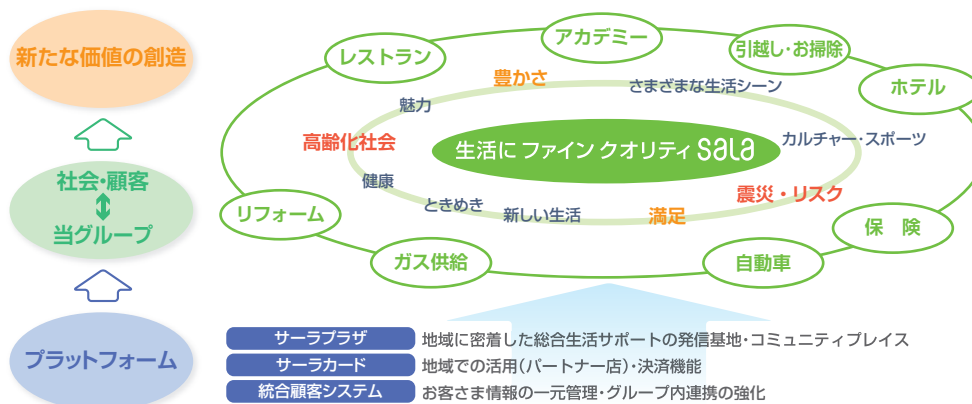
当社グループは、さまざまな事業領域に展開するグループ企業の経営資源並びにノウハウを活かし、日々の暮らしやビジネスにおけるお客さまの多様なニーズに合わせた商品・サービスの提供を通じて、グループ事業基盤のさらなる拡充を図るとともに、地域社会のますますの発展に貢献し続けることを目指しております。

その一環として、お客さまニーズなどの情報を集約した「統合顧客システム」、グループ各社の商品・サービスをつなぐ「サーラカード」、地域に密着した総合生活サポートの発信基地である「サーラプラザ」など、グループ基盤の積極的な活用を図ることで、お客さまとの接点のさらなる強化を図っております。

また、近年ニーズが高まっているリフォームにつきましては、グループ一体的な取組みを強化するため、「リフォーム本部」の設置など、「サーラのリフォーム」をグループ横断的に推進するための仕組みづくりを進めております。

第11期における当社グループの業績につきましては、売上高は3期連続の増収となり、営業利益、経常利益及び当期純利益は4期連続の増益を達成

お客さまとの関係強化に向けた当社グループの取組み



することができました。なお、第12期の事業計画においても、さらなる事業基盤の強化と効率化の推進により、増収増益を見込んでおります。また、第12期には新たな3年間を対象とした第5次中期経営計画の策定を進めます。

当社グループは、これからも、新たな商品・サービスの組立てを行い、これらを分かりやすく提案することで、潜在的なニーズの掘り起こしを図ります。また、リフォーム・環境・高齢化など多様化する社会的ニーズに的確に対応するとともに、グループの持つ強みを総合的に活用し、お客さまのニーズに応え続けることで、新たな価値やマーケットを創造していきます。

なお、当社は平成14年5月にグループ企業の中核的機能を担う持株会社として設立され、おかげ

さまで昨年10周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆さまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

神野 晋郎

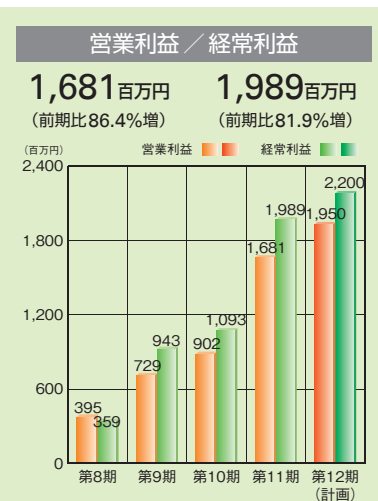
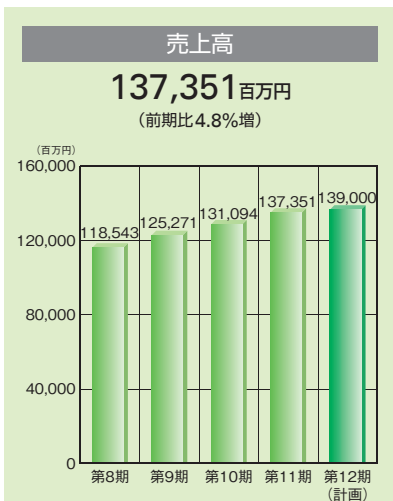


10年のあゆみ

2002年 (平成14年)	ガステックサービス(株)、(株)中部、新協オートサービス(株)(現サーラカーズジャパン(株))の持株会社として当社設立	2007年 (平成19年)	廃食用油リサイクルプロジェクト開始 (株)アスコが関西エリアに進出
2003年 (平成15年)	サーラ物流(株)、サーラフィナンシャルサービス(株)、(株)サーラビジネスソリューションズ設立 「サーラの森」第一回植樹祭	2008年 (平成20年)	サーラプラザ蒲郡、サーラプラザ浜北オープン サーラプラザの展開開始(現在7店舗) 中部瓦斯(株)との共通業務一元化へ向け、サーラガス磐田(株)設立 ココラフフロント、ホテルアークリッシュ豊橋オープン
2004年 (平成16年)	中部ガスグループからサーラグループへ呼称変更 「グループValue」「SALAブランドステートメント」策定 サーラカーズジャパン(株)が関東エリアに進出(「フォルクスワーゲン小平」)	2009年 (平成21年)	サーラプラザ豊橋オープン グッドライフサーラ関東(株)設立
2005年 (平成17年)	「サーラグループ環境方針」に基づき、「サーラエコプログラム」構築	2010年 (平成22年)	サーラプラザ浜松オープン 「統合顧客システム」の運用開始
2006年 (平成18年)	サーラクラブ発足(サーラカード発行) 「サーラ品質」向上へ向け、サーラクオリティオブザイヤー開始 エネルギーサプライ&ソリューション事業を商品別組織から顧客別組織へ再編	2011年 (平成23年)	(株)鈴木組の子会社化



連結業績ハイライト



当期の業績

3期連続の増収、4期連続の増益を達成しました。

〈売上高〉 137,351百万円 (前期比 4.8%増)
エネルギーサプライ&ソリューション、エンジニアリング&メンテナンス、カーライフサポートなどの各事業が増収となりました。

〈営業利益〉 1,681百万円 (前期比86.4%増)
アニマルヘルスケア事業を除く全事業が増益となりました。

〈経常利益〉 1,989百万円 (前期比81.9%増)
営業利益の増加に加え、持分法投資利益の増加、支払利息の減少などにより、経常利益は順調な増加となりました。

〈当期純利益〉 983百万円 (前期比81.6%増)
特別損益に特記すべき項目はなく、当期純利益も順調な増加となりました。

次期(12期)計画

第4次中期経営計画の総仕上げを行う事業年度として、引き続きグループ経営体質の徹底強化を図ることなどにより、さらなる増収増益を計画しています。

売上高 139,000百万円 (1.2%増)

営業利益 1,950百万円 (15.9%増)

経常利益 2,200百万円 (10.6%増)

当期純利益 1,250百万円 (27.1%増)

売上高は、エネルギーサプライ&ソリューション、アニマルヘルスケア、ホスピタリティなどの各事業で増収を計画しています。

営業利益は、エネルギーサプライ&ソリューション、エンジニアリング&メンテナンス、アニマルヘルスケア、及びホスピタリティの各事業で増益を計画しています。

事業セグメント別の概況

エネルギーサプライ&ソリューション事業

11期業績

3期連続増収、3期ぶり増益となりました

ポイント

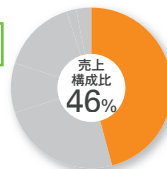
- ・LPガスは、製造業の生産回復と積極的な需要開発により、工業用を中心に販売量が増加

12期計画

売上高 64,470百万円 (1.3%増)

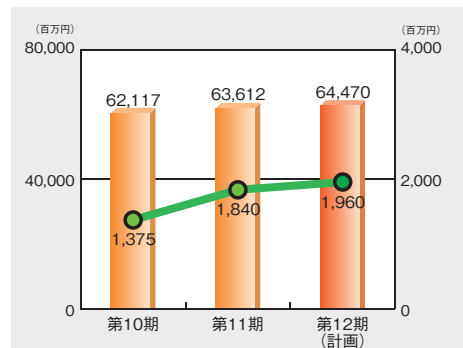
営業利益 1,960百万円 (6.5%増)

業容の拡大（お客さま数及び販売量の増加）に強力に取り組むことで、事業基盤の一層の強化を図るとともに、リフォームや省エネ・創エネなどの新たなニーズに的確に対応し、お客さまのニーズやビジネスをしっかりと支えていきます。



売上高 63,612百万円 (前期比 2.4%増)

営業利益 1,840百万円 (前期比 33.8%増)



売上高 (左目盛) 営業利益 (右目盛)

エンジニアリング&メンテナンス事業

11期業績

3期連続増収となり、3期ぶりに黒字化しました

ポイント

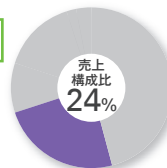
- ・前期の期中に子会社化した(株)鈴木組が当期は通期寄与
- ・子会社統合による事業構造の再編・合理化
- ・徹底した受注管理による粗利益率の改善

12期計画

売上高 32,200百万円 (0.3%減)

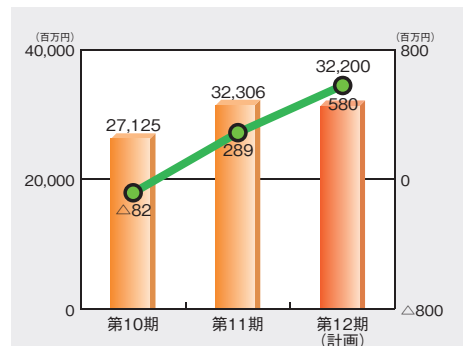
営業利益 580百万円 (100.2%増)

抜本的な収益構造の改革を継続し、さらなる利益率の向上を図るとともに、メンテナンスなどストックビジネスの拡大により安定的な収益基盤を確保します。



売上高 32,306百万円 (前期比 19.1%増)

営業利益 289百万円 (前期 営業損失 82百万円)



売上高 (左目盛) 営業利益 (右目盛)

カーライフサポート事業

11期業績

3期連続増収、4期連続増益で、売上高、営業利益とも過去最高となりました

ポイント

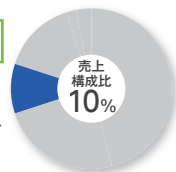
- ・既存オーナーを中心にきめ細かな営業活動を展開
- ・フォルクスワーゲン、アウディとも販売台数が増加
- ・アフターセールスにおいて、業務改善の徹底による効率化が進捗

12期計画

売上高 14,000百万円 (0.1%減)

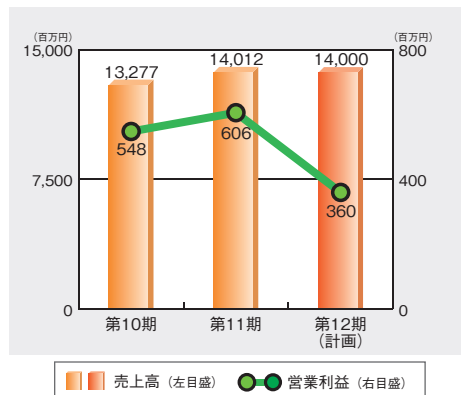
営業利益 360百万円 (40.6%減)

新規出店や店舗改修を進めるとともに、あらゆる場面での「お客さま満足」実現を通じてストアロイヤリティを向上させ、安定的な収益基盤を確立します。



売上高 14,012百万円
(前期比 5.5%増)

営業利益 606百万円
(前期比 10.5%増)



アニマルヘルスケア事業

11期業績

7期ぶり減収となり、初の営業損失となりました

ポイント

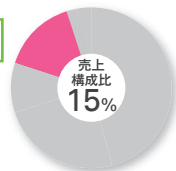
- ・畜産分野における、市況悪化の影響による動物用医薬品販売の伸び悩み
- ・ペット関連分野における、提案型営業の強化によるペット向け医薬品販売の増加

12期計画

売上高 21,320百万円 (3.7%増)

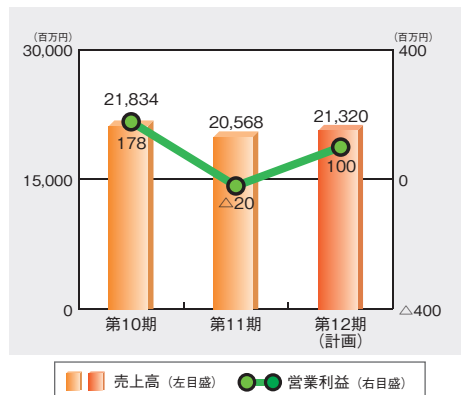
営業利益 100百万円 (前期は営業損失20百万円)

提案型・問題解決型営業活動の強化によるシェア拡大と業務効率化による収益性向上を通じて、営業利益の黒字化を実現します。



売上高 20,568百万円
(前期比 5.8%減)

営業損失 20百万円
(前期 営業利益 178百万円)



ホスピタリティ事業

■11期業績

当期は減収となりましたが、営業損失は4期連続縮小しました

ポイント

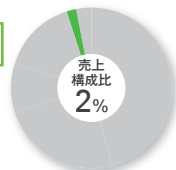
- ・宿泊・外食部門は計画的な販促活動により売上高増加
- ・プライダル部門の挙式組数減などにより、全体の売上高減少
- ・運営体制の見直しと徹底したコスト管理

■12期計画

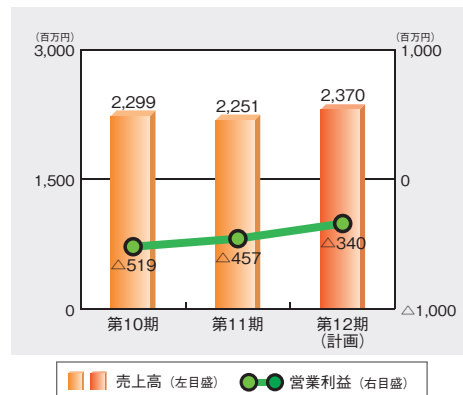
売上高 2,370百万円 (5.3%増)

営業損失 340百万円 (前期は営業損失457百万円)

お客さま満足の追求と抜本的なコスト削減を通じて、収益性の高い新たな事業構造への変革を推進します。



売上高	2,251百万円 (前期比2.1%減)
営業損失	457百万円 (前期 営業損失 519百万円)



第11期配当金

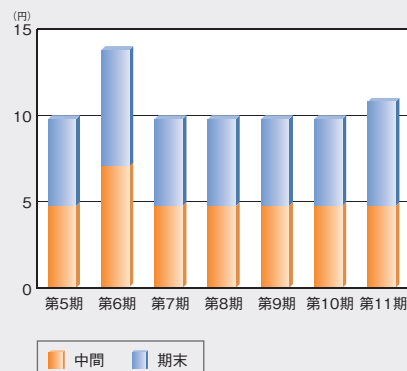
設立10周年記念配当として1株当たり1円を増配

当社は配当の基本方針として次のとおり定めています。

- ①連結配当性向30%を目途として配当を行います
- ②最低年間配当金として1株につき年10円（中間・期末各5円）を維持します

第11期の期末配当につきましては、上記に基づく1株当たり普通配当5円に、当社設立10周年を記念した記念配当1円を加え、1株当たり6円といたしました。

この結果、当期の年間配当は、中間配当金5円と合わせ、1株当たり11円となります。



1 フォルクスワーゲン富士オープン

サーラカーズジャパン株式会社は平成24年10月27日に「フォルクスワーゲン富士」をオープンしました。同社のフォルクスワーゲン店としては、平成17年11月にオープンした「フォルクスワーゲン センター八王子店」につぎ、8店舗目の出店です。静岡エリアにおける店舗網はさらに拡充し、これまで以上にお客さまへきめ細やかなサービスをご提供します。



Volkswagen. Das Auto.

- VW正規ディーラー
- VW認定中古車センター



Audi

- Audi正規ディーラー
- Audi認定中古車センター

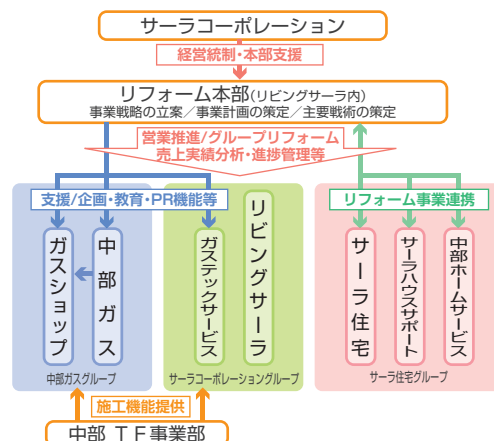


フォルクスワーゲン富士



2 リフォーム本部設置

「サーラのリフォーム」の一層の強化を目的として第12期より株式会社リビングサーラにリフォーム本部を設置することとしました。リフォームは社会の成熟化に伴い、近年ますますニーズが高まっていますが、企画・施工・アフターメンテナンスを一貫して行えるサーラグループ（サーラコーポレーショングループ、中部ガスグループ、サーラ住宅グループで構成）としての強みを活かし、グループ横断的に事業強化を推進していきます。なお、サーラグループでは、将来的なリフォーム売上高の目標として100億円を掲げ、この早期の達成を目指しています。



3 サーラコーポレーション設立10周年記念事業

平成14年5月1日に設立されたサーラコーポレーションは第11期が設立10周年に当たることから、記念事業としてグループ社員とその家族がさまざまな社会貢献活動に参加しました。



■豊橋善意銀行 「善意フェスティバル2012」

5月27日

身体に障がいがある方や福祉施設入居者の方々と、ゲームなどを通して楽しさを共感し、お互いの理解と友愛を深めました。



■「浜名湖クリーン作戦」

6月3日

地元の豊かな自然環境「浜名湖」を守るため、毎年6月第1日曜日に実施されている浜名湖沿岸の一斉清掃に参加しました。



■「ザ・ヤングアメリカンズ アジアンツアー2012夏」

6月9日・10日 浜松会場
6月16日・17日 豊橋会場

将来を担う子供たちのための教育プログラムで、外国人スタッフを自宅に受け入れたり、プログラムを円滑に進行させるためのお手伝いをしました。



■「サーラの森」記念植樹

9月9日

愛知県北設楽郡の豊川上流に位置する「サーラの森」において、サーラコーポレーション10周年、ガステックサービス50周年の記念植樹を行いました。



■穂の国「いのちの森づくり」 植樹祭2012

11月18日

豊橋市民のシンボリック的存在である「石巻山」において、NPO法人「穂の国森づくりの会」による作業指導のもと、植樹を行いました。

連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	当 期 (H24.11.30現在)	前 期 (H23.11.30現在)
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	38,921	37,904
現金及び預金	7,933	7,312
受取手形及び売掛金	20,168	19,142
商品及び製品	4,152	4,065
仕 掛 品	2,716	2,931
そ の 他	3,950	4,453
固 定 資 産	58,008	60,102
有 形 固 定 資 産	46,991	48,629
建物及び構築物	17,552	18,368
機械装置及び運搬具	2,058	2,294
導 管	1,950	2,237
土 地	22,447	22,602
リ ー ス 資 産	2,023	1,952
そ の 他	960	1,174
無 形 固 定 資 産	2,300	2,952
投資その他の資産	8,716	8,520
投資有価証券	3,756	3,544
繰延税金資産	2,273	2,339
そ の 他	2,685	2,637
資 産 合 計	96,929	98,006

単位：百万円

科 目	当 期 (H24.11.30現在)	前 期 (H23.11.30現在)
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	46,843	46,474
支払手形及び買掛金	16,822	14,832
短 期 借 入 金	14,120	17,150
1年内返済予定の長期借入金	6,430	5,020
賞与引当金	1,372	1,303
そ の 他	8,097	8,168
固 定 負 債	22,893	24,891
長 期 借 入 金	12,546	14,959
退職給付引当金	6,285	5,881
そ の 他	4,060	4,050
負 債 合 計	69,737	71,365
(純資産の部)		
株 主 資 本	25,917	25,322
資 本 金	8,025	8,025
資 本 剰 余 金	9,019	9,019
利 益 剰 余 金	9,826	9,229
自 己 株 式	△953	△951
その他の包括利益累計額	188	140
少 数 株 主 持 分	1,086	1,178
純 資 産 合 計	27,192	26,641
負 債 純 資 産 合 計	96,929	98,006

連結損益計算書

単位：百万円

科 目	当 期 (自H23.12.1 至H24.11.30)	前 期 (自H22.12.1 至H23.11.30)
売 上 高	137,351	131,094
売 上 原 価	107,233	101,907
売 上 総 利 益	30,118	29,187
販売費及び一般管理費	28,436	28,285
営 業 利 益	1,681	902
営 業 外 収 益	736	684
営 業 外 費 用	428	492
経 常 利 益	1,989	1,093
特 別 利 益	144	526
特 別 損 失	168	799
税金等調整前当期純利益	1,965	821
法 人 税 等	943	255
少数株主損益調整前当期純利益	1,022	565
少 数 株 主 利 益	38	24
当 期 純 利 益	983	541

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	当 期 (自H23.12.1 至H24.11.30)	前 期 (自H22.12.1 至H23.11.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,863	4,830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,617	△1,982
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,624	△2,430
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	621	417
現金及び現金同等物の期首残高	7,312	6,894
現金及び現金同等物の期末残高	7,933	7,312

会社の概要及び株式の状況

(平成24年11月30日現在)

商号 株式会社サーラコーポレーション

設立 平成14年5月1日

資本金 80億2,500万円

証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
名古屋証券取引所 市場第一部

役員 代表取締役会長 中村 捷二
代表取締役社長 神野 吾郎
代表取締役専務 松井 和彦
取締役 角谷 歩
取締役 一柳 良雄
取締役 石黒 和義
監査役(常勤) 原田 保久
監査役 鈴木 洋二
監査役 杉井 孝
監査役 村松 奈緒美

従業員数 2,772名(連結)

連結子会社 20社

エネルギーサプライ&ソリューション事業

ガステックサービス(株)
サーラ物流(株)
グッドライフサーラ関東(株)
(株)リビングサーラ
三河湾ガスターミナル(株)
(株)日興
神野オイルセンター(株)

エンジニアリング&メンテナンス事業

(株)中部
神野建設(株)
(株)鈴木組
(株)中部技術サービス
中部菱光コンクリート工業(株)
テクノシステム(株)
西遠コンクリート工業(株)

カーライフサポート事業

サーラカーズジャパン(株)

アニマルヘルスケア事業

(株)アスコ
大和医薬品工業(株)

ホスピタリティ事業

ガステックサービス(株)

その他の事業

新協技研(株)
サーラフィナンシャルサービス(株)
(株)サーラビジネスソリューションズ

発行可能株式総数 120,000,000株

発行済株式総数 40,338,708株

株主数 3,982名

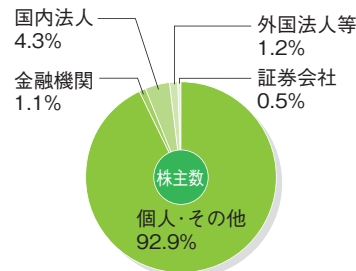
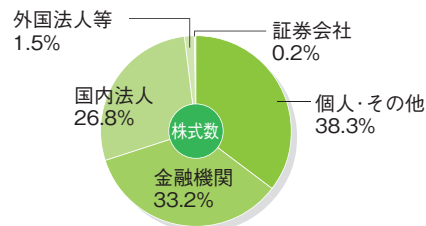
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中部瓦斯株式会社	5,921	15.34
サーラコーポレーション従業員持株会	2,042	5.29
中部ガス不動産株式会社	1,833	4.75
三井住友信託銀行株式会社	1,823	4.72
ガステックサービス共栄会	1,818	4.71
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,560	4.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,499	3.88
株式会社静岡銀行	1,495	3.87
株式会社三井住友銀行	1,197	3.10
株式会社みずほ銀行	957	2.48

●当社は自己株式1,752千株を保有していますが、上記大株主から除いています。

●持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布



株主メモ

- 事業年度 12月1日～翌年11月30日
- 定時株主総会 毎年2月中
- 基準日 定時株主総会の議決権・期末配当 11月30日
中間配当 5月31日
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所
〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 ☎ **0120-782-031**
- 取次窓口
三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
- 公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載します)
<http://www.sala.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 単元株式数 100株

株主優待のご案内

当社では、日頃の株主の皆さまのご支援に対する感謝の気持ちを表すとともに、当社グループへの一層のご理解を賜りたく、以下のとおり株主優待制度を実施しています。

- 対象
毎年11月末日現在における500株以上所有の株主さま
- 内容
ご所有の株式数に応じて、下表の金額分の株主優待券をお届けしています。株主優待券の有効期限は一年間となります。

所有株式数	優待内容
500株以上 5,000株未満	1,000円分の株主優待券
5,000株以上10,000株未満	5,000円分の株主優待券
10,000株以上	10,000円分の株主優待券

- ご利用方法
株主優待券は、当社グループのガステックサービス(株)が販売するガス機器、同社が運営するガソリンスタンドでの給油・洗車、ホテルアークリッシュ豊橋での宿泊、同ホテル内のレストランでの飲食などにご利用いただけます。

ご利用店舗が近くにない株主さまには、株主優待券相当分の商品をお送りさせていただいています。

sala

お問い合わせ先

株式会社サラーコーポレーション 総務部 総務グループ

☎0532-51-1182 <http://www.sala.jp/> E-mail:ir@sala.jp